

CORPORATE PROFILE

水と、いのち (生命) を育む農法と工法の融合
そして、なりわい(生業)から社会貢献型企业へ



いすみ市トンボ池のコハクチョウ 布留川さん撮影

里山里海自然づくり事業をする会

**利根川下流域での湖沼・渡り鳥復元100年計画
ラムサール条約登録湿地登録を同時な目標設定として**

でも、そのための基本は

生きものとの共生と、社会貢献型企業による 地域の里山里海の時代に即した再生

環境分野から、農業分野まで、地域再生する目的で、市民による市民のためのダイレクトな設計から具体的な工事まで

地域の方々が、身近な小河川やため池、沼、湿地、段々畑や田んぼなどを、自分たちの力で自由自在に管理していける技術に育てる。

すでに稲作や大豆など多種多様な栽培植物にまで、拡大して利用されつつある冬期湛水不耕起栽培技術

**ブランチブロック工法と、冬期湛水不耕起栽培など、生物多様性を高める農法等を有機的に組み合わせ、命の尊厳を高めていく工法のこと。
市民型公共工事として、融合して提案します。**

岩澤さんと不耕起栽培の稲株

自然塾の実習農場です左の巨大な稲株が冬期湛水不耕起栽培によりま
す。



無肥料・無施肥への2つのキーワード

過剰な酸素供給環境がもたらす副音



野外で5.5葉に育った立派な成苗を使う。稲の生命力を最大限に引き出す技術。育苗中にわざとローラで葉をつぶすようなことも。

膨大な酸素を生み出すサヤミドロ。イトミミズをはじめとした、田んぼの膨大な命を支える根源的な力に — (アオミドロではありません)



自然塾の塾生の1/2以上が30歳以下



**この排水路底にある細い塩ビ管から
わずかな電力費用で取水。水問題に対応。
ため池の造成や段々畑、平地の水確保に尽力中**
水張りには1haの田んぼに1日間をかけるスローペース。水問題に対処しやすい。
宇宙に旅たったハヤブサのイオンエンジンと同じゆるやかな精神で。



去年の稲株間に、新しい苗を植える

1人で30haの田植えをこなせる専用田植え機

不耕起栽培の普及を妨げるもの それは水の確保です。



田植え



塾生との語らい

原体験を重視する。経験則を公開する



全国から、あらゆるタイプの方々の見学が絶えない



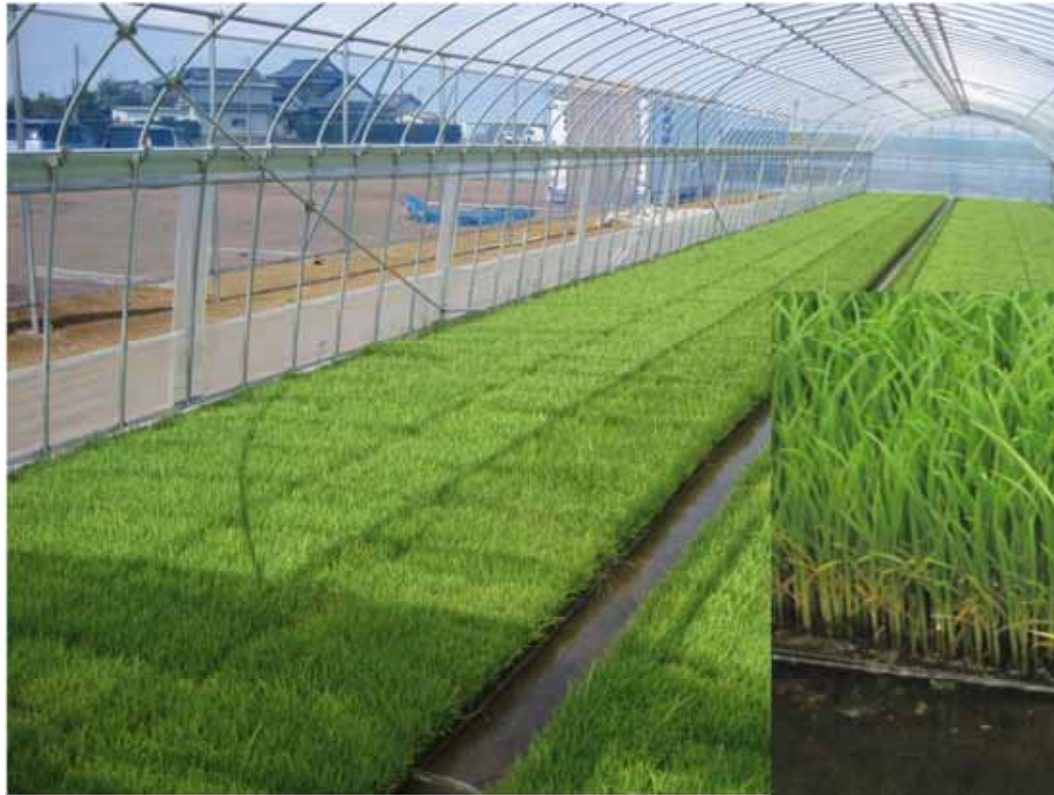
色々な方々の見学が絶えません

田植え直前の冬期湛水不耕起栽培の田圃。稲株は根っこがまだ生きていて、6月まで生き物に栄養を供給して、とろけて消えます。



5.5葉の成苗を育てる

分枝する地点をチェックする



冬期湛水不耕起栽培での田植え



排水用水路から水を引く。井戸を掘る。大なり小なりため池を造る。



ため池や段々畑の新造や更新、維持管理にはブランチブロック工法を推奨しています。木の根っこを参考にして作られたアイデア。小型もあり、ため池やあぜなどにも自分で組み立てて活用できるように設計中です。

2011/01/30

自然再生のための良い工法です(例)
ブランチブロック工法。この写真では工事の関係で仮に土の
うが積んでありますが、完成時撤去されています



この工法は、石積の仕組みですが、ハニカム(六角形)のコンクリートブロックをはめ込んで、その後ろに石積をする工法です。

・施行後6年で、灌木までもどんどん生えてきて、かつての景観が復活した。石積であり、川と外部の循環があり、隙間だらけで漁巢もできやすく、生物多様性の向上にはとても貢献してくれます



がけ崩れを防除する 事例

60度もの角度で迫る裏山の崩壊を抑え込んでいます。

地形に合わせた自由曲線で、崖の形状に合わせ「アール」が壁面を支えています。



とても急峻ながけ地です。そのがけ地の自然構造に、柔軟にあわせてカーブを描いて組み立てられています

